

サンプルファイルの使い方

このドキュメントでは、アドビの HTML5特設サイト「Dreamweaver CS6とHTML5で今すぐ始めようスマートフォン&タブレット対応」(<http://adobe-html5.jp/>) からダウンロードした互換サイトのサンプルファイルを、Dreamweaver CS6で使用する為の設定手順を説明します。

必要な作業は、大きく以下の3つです。

1. Dreamweaver CS6 のインストール
2. サイトの定義
3. マルチスクリーンプレビューの動作確認

事前に用意するものは以下の2点です。

1. Dreamweaver CS6 製品版／体験版
2. HTML5/CSS3特設サイトから提供されるのサンプルファイル

どちらも、HTML5特設サイト (<http://adobe-html5.jp/>) から入手できます。

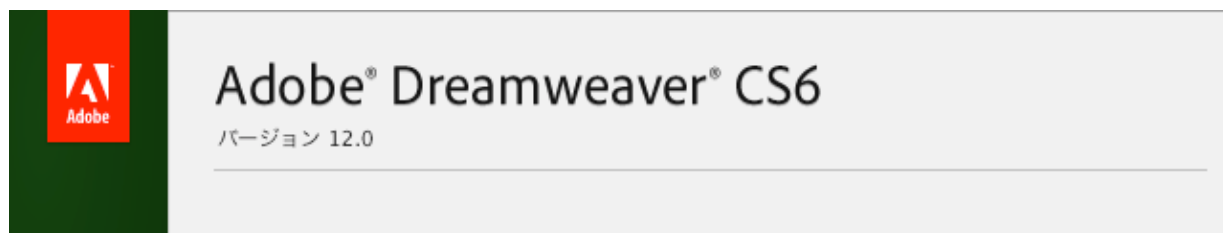
設定手順

1. Dreamweaver CS6 のインストール

まず、Dreamweaver CS6 をインストールします。製品／体験版の入手は、HTML5特設サイト (<http://adobe-html5.jp/>) 内のDreamweaver CS6バナーをクリックして、Dreamweaverの製品ページに移動してから、単体製品もしくはCreative Cloudを選択して下さい。（このサンプルの使用には、Dreamweaver CS5.5以降が必要です）



インストールが完了したら、動作確認のためDreamweaverを起動します。メニューから「Dreamweaverについて」を開きDreamweaver CS6が正しくインストールされていることを確認してください。



Dreamweaverを起動し、新規ファイルを開いた状態で、メニューバーの「修正」メニューから「メディアクエリー」を選ぶと下のパネルが表示されます。これでツール側の準備は完了です。

メディアクエリー

メディアクエリーを使用すると、デバイスごとに異なる CSS ファイルを指定することができ、複数のデバイス用にデザインを作成できます。

メディアクエリーを書き込み：

☐ サイト全体のメディアクエリーファイル：

このダイアログで変更した内容は、サイト全体のメディアクエリーファイルを含んでいるすべてのページに影響します。サイト設定ダイアログの詳細設定セクションでこれを使用するファイルを選択できます。

☒ 現在のドキュメント

☐ 実際の幅をレポートするようデバイスに強制する

特殊なメタタグをドキュメントに挿入することで、特定デバイスの実際の幅をレポートするようにできます。これにより、正しくない幅がレポートされてページが拡大・縮小されるのを防ぎます。

説明	メディアクエリー	CSS ファイル

プロパティ

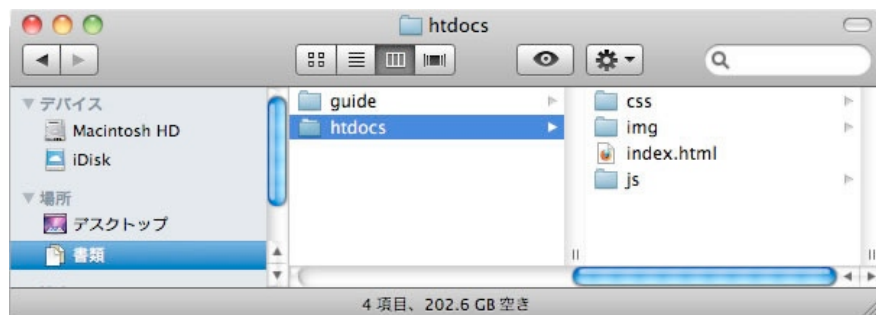
詳細：

最小幅： px 最大の幅： px

CSS ファイル：

2. サイトの定義

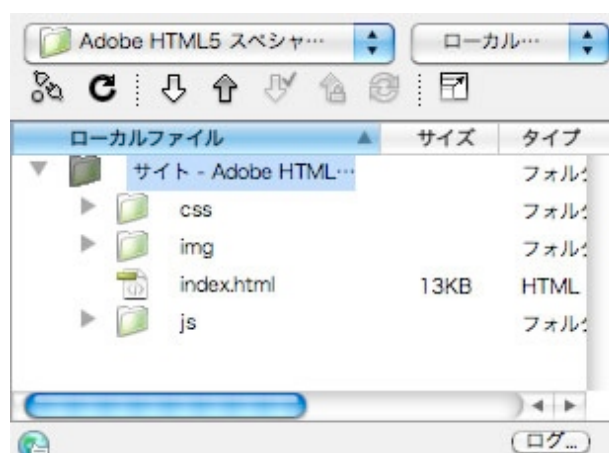
ダウンロードしたzipファイルをダブルクリックして展開します。zip内に含まれているhtdocsフォルダーを、適当な場所に移動します。



メニューバーの「サイト」メニューから「新規サイト」を選択すると、下のサイト設定ダイアログが開きます。サイト名に適切な名前を、ローカルサイトフォルダーには先ほど展開したhtdocsフォルダーの場所を指定します。「保存」をクリックするとサイト定義が生成されます。



ファイルパネルに、定義したサイトが表示されます。サイト名が上で指定したものと一致していることを確認して下さい。異なる場合は、パネル上部のプルダウンから目的のサイトを選択します。



パネル内でindex.htmlをクリックすると、ファイルが編集領域に表示されます。

ドキュメントツールバーの「ライブビュー」をクリックして実際の表示を確認してみましょう。関連ファイルがツールバー上部に表示されるので、クリックしてそれぞれのファイルの中身も確認してみてください。



3. マルチスクリーンプレビューの動作確認

index.htmlがエディタ内に表示された状態で、ドキュメントツールバーの「マルチスクリーンプレビュー」（1つ前のスクリーンショットを参照）をクリックします。プレビューパネルが開き、3種類の画面サイズでの表示を同時に確認できます。



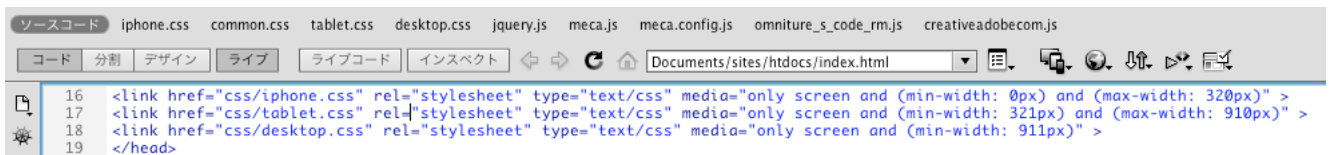
パネル右上の「メディアクエリー」をクリックします。CSSファイル内の内容が正しく表示されていることを確認します。

キャンセルを押して、このパネルを閉じます。

今度はパネル右上の「ビューポートのサイズ」をクリックします。プレビューの表示サイズが、スマートフォン幅320×高さ300、タブレット幅768×高さ300、デスクトップ幅1126と指定されています。上の「メディアクエリー」とこのパネルのスマートフォンの幅を変えると、Androidスマートフォンの表示も確認できます。（このサンプルはiPhone向けに最適化されています）



Dreamweaverのエディタに戻り、コードビューに切り替えてHTMLソースを確認すると、上のパネルで表示された内容が、メディアクエリーを使って記述されていることが確認できます。



以上で、設定は完了です。Dreamweaverを使ってサンプルファイルを修正してみましょう。

別表：サンプル内で使用されている HTML5/CSS3 コード一覧

【HTML5】

header
 footer
 article
 aside
 section
 figure
 figcaption

【CSS3】

border-radius
 box-shadow
 box-sizing
 transition
 multiple background

ブラウザ固有の指定

*Firefox
 -moz-linear-gradient

*webkit
 -webkit-gradient
 -webkit-keyframes
 -webkit-animation-name

`-webkit-animation-duration`
`-webkit-animation-iteration-count`
`-webkit-animation-timing-function`

(`-webkit-keyframes`以下は読み込み時のアニメーションに使用)